

# 警察署等再編整備計画の概要

## 再編整備の背景(必要性)

- 1 小規模警察署の脆弱性及び非効率性
  - 夜間・休日の体制が弱く、初動対応に支障を来すおそれ
  - 管理部門の高比率による非効率な体制
  - 取扱件数の減少による専務部門の練度不足
- 2 犯罪情勢等の変化に伴う専門的、広域的対応が必要な事案の増加
  - ストーカー・DVなどの人身安全関連事案、特殊詐欺、サイバー犯罪、来日外国人犯罪等の専門的、広域的な対応が必要な事案の増加
- 3 警察署間における業務負担の較差
  - 非都市部と都市部の警察署の警察官1人当たりの業務負担に較差
  - 警部派出所の取扱件数は僅少
- 4 警察施設の老朽化
  - 現在の施設を維持しながら建替更新等を進めると将来大きな負担

背景を踏まえ  
再編整備を検討

## 警察署等再編整備の基本方針

- 1 小規模警察署の機能強化、大規模化による事態対処能力の強化
  - 小規模警察署の統合等により規模を拡大し、必要な専務員の人員を確保し、夜間・休日も含めて複雑・大規模な事件・事故への事態対処能力を強化
  - 管理部門等のスリム化により捻出した人員を実働部門に再配分
- 2 治安情勢に応じた人員の配分による県下全体の治安維持力の向上
  - 小規模警察署の統合等により捻出した人員を本部執行隊等に再配分し、警察署支援体制を強化
  - 本部における専門的、広域的な事案への対処能力の強化

警察署等の  
再編整備

## 具体的再編整備内容

- 1 佐用警察署
    - たつの警察署と統合し、専務員の人員を充実させる。
    - 管轄区域はたつの市、揖保郡及び佐用郡とする。
    - たつの警察署の庁舎を本庁舎とする。たつの警察署の庁舎はたつの警察署のままとし、佐用警察署の庁舎は兵庫県警察佐用警察センターとする。
  - 2 養父警察署
    - 朝来警察署と統合し、専務員の人員を充実させる。
    - 管轄区域は養父市及び朝来市とする。
    - 朝来警察署の庁舎を本庁舎とする。朝来警察署の庁舎は南但馬警察署朝来本庁舎とし、養父警察署の庁舎は兵庫県警察養父警察センターとする。
  - 3 豊岡北警察署
    - 豊岡南警察署と統合し、専務員の人員を充実させる。
    - 管轄区域は豊岡市とする。
    - 豊岡南警察署の庁舎を本庁舎とする。豊岡南警察署の庁舎は豊岡警察署とし、豊岡北警察署の庁舎は兵庫県警察城崎警察センターとする。
- ◆ 警部派出所
- 生活安全関係及び交通関係の許可等事務の受付窓口は、原則として管轄警察署に集約
  - 運転免許更新事務については、警部派出所等の施設を利用し、曜日を限定して実施
  - 名称は、それぞれ地域の名称を冠した分庁舎又は、併設する交番名
  - 併設交番は、現在の庁舎を利用、交番として存続
  - 交番が併設されていない出石、香住、津名西警部派出所は分庁舎とし、責任者として分庁舎所長(警察署の警務課長が兼務)及び連絡調整官(警部補)を配置し、配置パトカーの活動拠点として存続

## 住民の不安解消に向けた施策

### 警察署再編地域における治安対策等

- 1 警察センターの機能
  - 警察センター所長を配置(副署長が兼務)
  - 連絡調整官(警部)を配置し、防犯活動や交通安全活動を始めとして、関係行政機関や地域住民と連携して行う活動等について、連絡調整に当たるとともに、担当区域内に配置されている地域課員を指揮監督
  - 住民の利便性確保のため、必要性が高い機能を継続
  - パトカーを常駐させ、災害対策拠点施設として運用
- 2 地域に密着した警戒活動の維持
  - 警察署が警察センターとなる地域の交番・駐在所は自分の間、存続
  - 警察センターに広域多機能部隊のパトカーを配置
  - 統合により専務員が充実し、交番・駐在所の勤務員が専務員を応援する機会が減少
- 3 自治体との連携
  - 警察官OBの雇用を希望する自治体への情報提供
  - 庁舎建替時、自治体庁舎と警察施設の一体化を検討

### 警察本部による支援体制の充実

- 1 広域多機能部隊の配置
  - 警察センターを活動拠点としてパトカーによるパトロール活動を行い、地域住民の安心感を醸成
  - 隊員は、刑事・生活安全・交通等の知識を有する者を優先的に配置
  - 災害地域支援チーム(DCST:デコスト)に指定し、災害発生時は被災地で初期活動
- 2 運転免許更新事務
  - 再編地域において、曜日を限定して行う運転免許更新事務を円滑に実施するため、警察署員のほか、本部交通部運転免許課の職員も派遣
  - 但馬運転免許センターの運転免許更新申請受付日の拡大
- 3 本部による捜査支援体制の強化
  - 防犯カメラ画像等の収集等を行う警察本部の所属において、警察署再編地域を含む方面を担当する体制を強化
- 4 住民サービスの維持向上
  - スマートフォンのビデオ通話機能を活用した映像通報システム「Live10(仮称)」の導入や各種届出等のオンライン化を検討
- 5 災害対応の強化
  - 大規模災害が予想される場合、災害地域支援チーム(DCST:デコスト)を警察センター等に事前配置
  - 災害時等警察活動協力員から情報を迅速に受ける仕組みを検討
  - 関係団体等との現場支援等に関する協定等の事前締結

## 再編整備による効果(目指すべき姿)

- 1 事態対処能力の優れた警察署体制の確立
  - 警察署の大規模化による夜間・休日の体制の強化
  - 複雑・大規模な事件・事故や災害等発生時の事態対処能力の強化
  - 管理部門を削減し実働部門に再配分することにより治安維持力が向上
- 2 専門的、広域的な事案に対応し得る体制の充実
  - 本部の捜査員による警察署の支援体制を充実させることで、専門的知識や技術が必要な事案への対処能力を強化
  - 広域性の高い本部執行隊等の体制を充実させることにより、迅速的確な対応が可能
- 3 再編地域における安心感、利便性の確保
  - 警察センター等の設置による地域住民の利便性の確保
  - 広域多機能部隊を編成し、警察センターを拠点に事件・事故や災害発生時の初期対応を強化
- 4 警察署間の業務負担の較差の改善
  - 警察官1人当たりの業務負担の較差の改善

## 警察本部及び交番・駐在所の再編整備

- 1 警察本部
  - 専門的、広域的な対応が必要な事案への対処能力の強化
  - サイバーセキュリティ・捜査高度化センター(CSIS)を設置するとともに来日外国人犯罪に対応する組織の新設を検討
- 2 交番・駐在所
  - 業務負担の低い交番・駐在所の再編整備
  - 都市部を中心に、業務負担の低い交番・駐在所を対象として警察署再編状況を踏まえて検討
  - 勤務の在り方の検討
  - 日勤制の導入等交番・駐在所の勤務の在り方を検討
- 3 人的基盤の強化も含めた治安対策の高度化
  - 人的基盤の強化
  - 西播磨・但馬地域に、出身者や勤務希望者を優先的に配置
  - 警察施設の計画的な維持管理
  - 施設数が多く、老朽化も進行、必要性や規模を検証し、計画的に維持管理
  - 装備資器材の高度化による警察力の向上
  - 犯罪情勢の変化に的確に対応するため装備資器材を高度化

## 将来的な課題

- 再編整備後、概ね3年後をめどに警察署再編地域の治安情勢を検証、更なる対策の要否を検討
- より広域的な警察署等の再編についても、県下の社会情勢や治安情勢、施設の立地条件等を踏まえながら、中長期的視点で検討